

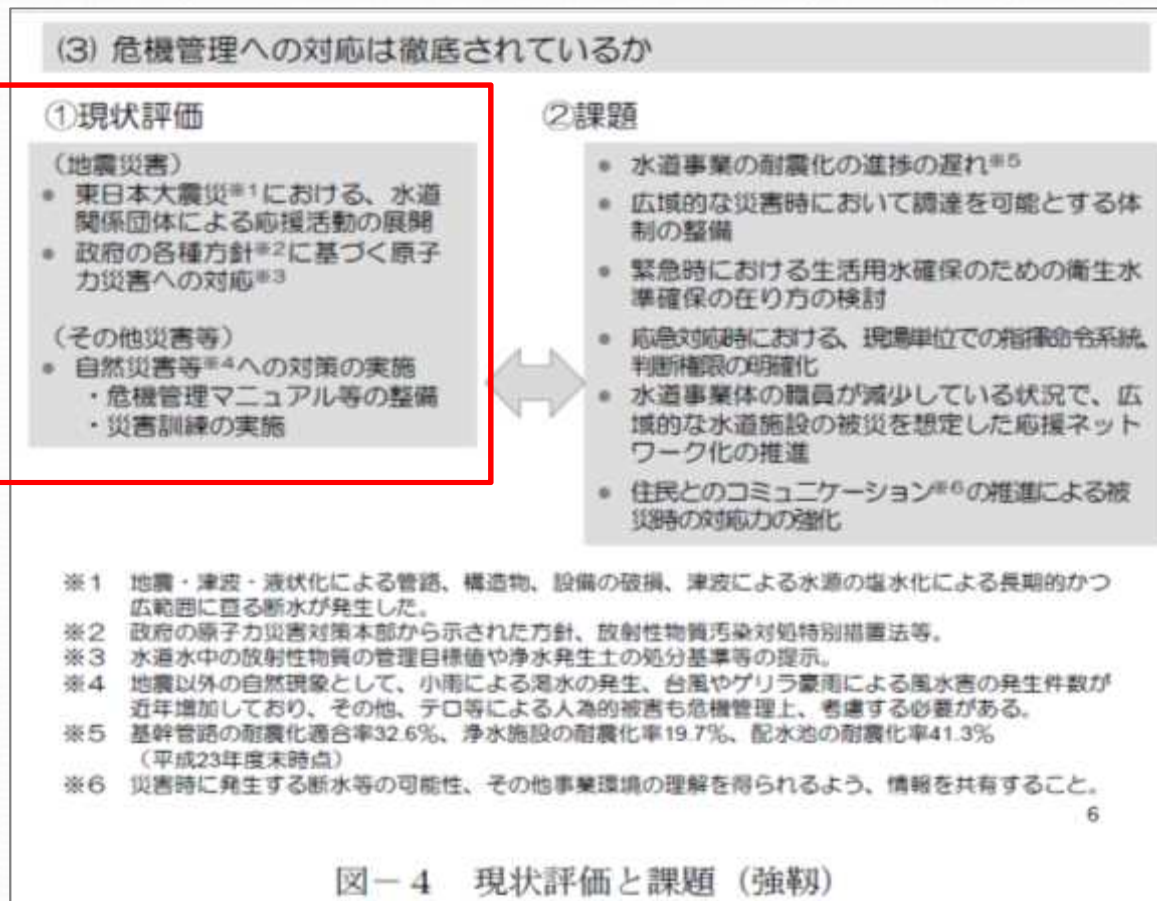


3 「強靱」の現状評価

～新水道ビジョン（ビジョン（国））と高槻市の取組

「強靱」のビジョン(国)における現状評価

「強靱」の観点 = 「危機管理への対応は徹底されているか」



【現状評価】

ビジョン（国）

【まとめ】

【①水道関係団体による応援活動の展開】

【②原子力災害への対応】

【③危機管理マニュアル等の整備や災害訓練の実施】

【現状評価①】

ビジョン（国）

【①水道関係団体による応援活動の展開】

- ・大規模災害発生時には、水道関係団体を中心とした水道界全体のネットワークが機能。全国の水道関係者による精力的な応援活動が展開された。

高槻市

【水道事業の相互応援体制の構築】

- ・大規模災害発生の際には、被災都市への応援活動を実施した。
- ・本市が被災した際には、多数の水道事業体から応援を受けた。

3 「強靱」の現状評価 ～新水道ビジョン(ビジョン(国))と高槻市の取組

【現状評価①】 水道事業の相互応援体制の構築



【給水車による応援活動(西日本豪雨時)】



【外部組織との打合せ(大阪府北部地震時)】

- ・ 東日本大震災、平成30年西日本豪雨などにおいて、日本水道協会等の組織を通じて被災都市への応急給水活動等の応援を実施した。
- ・ また、平成30年大阪府北部地震での被災時には、多数の水道事業者から応援を受けることができた。

【現状評価②】

ビジョン (国)

【②政府の方針に基づく原子力災害への対応】

- ・ 政府の対策本部方針や各種法令に基づき、水道中の放射線物質モニタリングを実施し、情報を公開している。



高槻市

【水道水中の放射能測定と情報開示】

- ・ 自己水について、放射性物質等の情報を市ホームページで開示している。

3 「強靱」の現状評価 ～新水道ビジョン(ビジョン(国))と高槻市の取組


【現状評価②】水道水中の放射能測定と情報開示

現在の位置 [ホーム](#) > [組織から探す](#) > [水道部](#) > [浄水管理センター](#) > 水道水の放射能の評価等について

水道水の放射能の評価等について

平成23年3月に発生した東日本大震災において、福島第一原子力発電所が被災し、放射性物質漏えいが確認されたことを受けて、近畿圏においても水道水源への放射性物質の汚染の影響をモニタリングしています。

本市水道部においても、水道水の放射能測定を実施し、平成28年度までの測定結果のすべてにおいて放射能は検出されなかったことから、現在は、本市が実施している高槻市域の空間放射線量調査、水道水を受水している大阪広域水道企業団の水道水の放射能測定、大阪府の放射能水準調査、その他近隣地方公共団体が実施している調査の結果から、総合的にリスクを評価しています。

 [過去の測定結果 \(PDF : 97.5KB\)](#)


関連リンク

[▶ 高槻市域の空間放射線量](#)

高槻域、大阪府、全国及び福島第一原発付近の空間放射線量測定の結果や、放射線についての

定住促進・特設

高槻に住もう！
たかつき
ウェルカムサイト



浄水管理センター

- ▶ [水道水の放射能の評価等について](#)
- ▶ [水質管理](#)
- ▶ [水質検査結果](#)
- ▶ [水質検査計画](#)
- ▶ [水質基準](#)
- ▶ [水道施設](#)
- ▶ [給水経路図](#)
- ▶ [水源から家庭に水が届くまで](#)

出典：市ホームページより抜粋

- ・自己水について、水安全計画に基づき放射性物質についてリスクマネジメント済みであり、市ホームページで情報を開示していた。
- ・大阪広域水道企業団は、放射性物質のモニタリングを実施し、観測時の水道水の取扱いについてホームページ等にて開示している。

【現状評価③】

ビジョン（国）

【③危機管理マニュアル等の整備、災害訓練の実施】

- ・ 自然災害、テロ等を含めた様々な危機に対応するための危機管理マニュアルの整備や、災害対策訓練が実施されている。



高槻市

【災害対策訓練・危機管理マニュアルの整備】

- ・ 市全域大防災訓練や水道部独自の災害対策訓練を実施している。
- ・ 危機管理マニュアルを整備し、災害の経験等を受け改善を図っている。

3 「強靱」の現状評価 ～新水道ビジョン(ビジョン(国))と高槻市の取組

【現状評価③】 災害対策訓練・危機管理マニュアルの整備



【応急給水訓練】



【応急復旧訓練】

- ・ 2013年、2019年には市全域大防災訓練を実施し、水道部は給水部として、災害時には関係各部と連携を図り応急給水等の対応を行っている。また、水道部独自の災害対策訓練も毎年実施している。
- ・ 災害応急対策実施要領を作成し、危機管理マニュアルを整備し、災害の経験や環境の変化を反映できるように、適宜内容の充実に取り組んでいる。